（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和元年7月31日※1
(前回公表年月日:平成 30年7月31日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
盛岡ペットワールド専門学校	平成16年9月21日	工藤 昌雄	〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通10番16号 （電話）019-604-1151
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人龍澤学館	昭和38年3月14日	龍澤 正美	〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原3丁目4番1号 （電話）019-622-6357

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	動物看護師科	平成26年文部大臣告示第7号	-

学科の目的	動物看護師の国家資格化の流れに伴い、飼い主に対する質の高い医療サービス全般が求められるようになってきている。動物看護師統一認定機構主催動物看護師資格に則った専門知識・医療技術に加え、医療機関を想定した実習・演習をより多く行うことで、人間性・社会性を兼ね備えた即戦力となる人材の育成をする。
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2378時間	995時間	0時間	1383時間	0時間	0時間

単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人	36人	0人	6人	4人	10人

学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 筆記試験、または実技試験によるA・B・C・Dの4段階評価
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏 季:7月23日～8月19日 ■冬 季:12月17日～1月14日 ■学 年 末:2月25日～3月31日	卒業・進級条件	出席日数が年間必要な日数の9割以上であること。 専門科目においてC以上であること。
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談・保護者面談	課外活動	■課外活動の種類 動物系ボランティア・地域清掃 ■サークル活動: 無

就職等の状況※2

■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生)
動物病院・ペットショップ

■就職指導内容
筆記試験対策、面接試験対策、技術指導

■卒業者数	22	人
■就職希望者数	22	人
■就職者数	19	人
■就職率 :	86.3	%
■卒業者に占める就職者の割合 :	86.3	%

■その他
・ : 3人

（平成 30 年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報）

主な学修成果（資格・検定等）※3

■国家資格・検定/その他・民間検定等
(平成30年度卒業者に関する令和元5月1日時点の情報)

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
動物看護師資格	②	21人	15人
愛玩動物飼養管理士	③	16人	13人
動物看護師(当校独自認定)	③	21人	18人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他(民間検定等)

■自由記述欄

中途退学の現状

■中途退学者 1 名 ■中退率 27 %
平成30年4月1日時点において、在学者26名（平成30年4月1日入学者者を含む）
平成31年3月31日時点において、在学者38名（平成31年3月31日卒業者者を含む）※3名転科により加入
■中途退学の主な理由
進路変更
■中退防止・中退者支援のための取組
月単位を計上し、出席率95%以下～個別面談、出席率90%以下～保護者面談 等

経済的支援制度

■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有
※有の場合、制度内容を記入

《給付型奨学金制度》
次に挙げる応募資格のいずれかに該当する入学希望者に対して選考試験(書類審査、面接、小論文)を実施し、認定ランクに応じて授業料の全額または一部を入学年度に給付する
【応募資格】
①生活保護世帯
②市町村民税所得割非課税世帯または所得税非課税世帯
③保護者等の倒産・失職(自己都合を除く)等で家計が急変したことにより、現在の世帯年収が300万円を下回っている世帯
※家計急変事由の発生から12か月以内である場合に応募可能
【認定ランクと給付額】
A:55万円 B:27.5万円 C:10万円

《特待生制度》
学業成績ならびに人間性に優れ、他の学生の模範となりうる方を特待生に認定し、認定ランクに応じて入学金の全額・半額・一部を入学年度に免除する
【応募資格】
・高等学校での評定平均が3.8以上
・愛玩動物飼養管理士準2級以上取得者
・高等学校において皆勤の者 等
【認定ランクと免除額】
A: 入学金10万円 B: 入学金5万円 C: 入学金2万円

■専門実践教育訓練給付: 給付対象
※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
実績なし

第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無
当該学科のホームページURL	http://wanco.ac.jp/submap/nurse.html

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成を行うにあたり事業所等と連携する上では、本校の「人と動物のより良い関係づくり」という教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を事業所等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける事業所等と連携することを基本方針とする。学生が、就業先の事業所等において即戦力となり、将来的には業界の発展に寄与できる力を身につけるために、事業所等から最新の動物業界の状況や今後の動向、またペットショップスタッフ実務において必要とされる小動物管理・接客技術・経営知能等に関する情報を提供いただき、これを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効果的な教育課程の編成を検討していく。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

委員会の審議内容は、同年度内に、本校の職員、学校運営委員会、MCL事業本部での審議を図り、最終的には、理事長の承認を得て次年度のカリキュラムを決定することとする。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
工藤　昌雄	盛岡ペットワールド専門学校　校長	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	本校職員
吉田　淳	盛岡ペットワールド専門学校　副校長	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	本校職員
三上　祐太	盛岡ペットワールド専門学校　教務部	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	本校職員
佐々木　一弥	一般社団法人　岩手県獣医師会　会長	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	①
佐藤　れえ子	岩手大学農学部付属動物病院　病院長	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	③
高坂　恵梨香	盛岡ペットワールド専門学校　教務部	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	本校職員

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

委員会開催については、年2回、8月と3月に行うこととする。

（開催日時）
年2回開催
第1回　平成30年8月23日　15:00～16:00
第2回　平成31年3月20日　15:00～16:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

動物業界で動物看護師として働くうえで、現状および今後必要となるスキルに関するアドバイスをいただき、「動物看護実習Ⅰ」、「動物看護実習Ⅱ」、「動物臨床検査学実習Ⅰ」、「動物臨床検査学実習Ⅱ」の授業において実践スキルを高められるよう授業の内容に反映させ、動物看護師として職務を全うするために今後必要となる内容まで含めて指導を行う。また、飼い主様とのやり取りの中で動物に関する技術のみならず、人間力・対応力の向上も必要となるため、接客能力・事務能力に関してアドバイスいただき、「ペットビジネス教養Ⅰ」、「ペットビジネス教養Ⅱ」の授業内容に反映させている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

より専門性の高い動物看護師を育成するため、学生本人の出身地域や就職希望地域も考慮に入れ、学校内での学びが現場でどのように活きてくるのかを経験させたいという本校の目的を理解して指導にあたっていただける事業所を選定。現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的（基本方針）とする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

動物分野における実践的な職業教育として動物関連企業や動物病院と契約を締結し、実践的な技術の習得やペットライフの質の向上による地域活性化を目的として連携している。企業および病院より直接的に学生に対して指導いただくとともにアンケートを実施し学修成果の評価について連携を行っている。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な6科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
外科動物看護実習Ⅰ	現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外（おもに東北地区）の動物関連事業所において、実習を行う。	そら動物病院、えさし動物病院、アイ・エル動物クリニック、カシワタニ動物病院、森下小鳥病院を含む24事業所
外科動物看護実習Ⅱ	現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外（おもに東北地区）の動物関連事業所において、実習を行う。	そら動物病院、えさし動物病院、アイ・エル動物クリニック、カシワタニ動物病院、森下小鳥病院を含む24事業所
総合臨床実習	1年次終了実習での課題や反省を活かし、2年次実習では自ら気づき・考え動くことを目標とする。学校内での既習実習を踏まえて、現場で起こりうる危機管理等にも目を向け、より高い技術を学び実務経験を積むことで即戦力となる人材を育成する。	そら動物病院、えさし動物病院、アイ・エル動物クリニック、カシワタニ動物病院、森下小鳥病院を含む24事業所
ペットビジネス教養Ⅰ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	株式会社テレビ岩手 岩手県スポーツ振興事業団
ペットビジネス教養Ⅱ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	株式会社テレビ岩手 岩手県スポーツ振興事業団

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成を行うにあたり事業所等と連携する上では、本校の「人と動物のより良い関係づくり」という教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を事業所等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける事業所等と連携することを基本方針とする。学生が、就業先の事業所等において即戦力となり、将来的には業界の発展に寄与できる力を身につけるために、事業所等から最新の動物業界の状況や今後の動向、またペットショップスタッフ実務において必要とされる小動物管理・接客技術・経営知能等に関する情報を提供いただき、これを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効果的な教育課程の編成を検討していく。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

委員会の審議内容は、同年度内に、本校の職員、学校運営委員会、MCL事業本部での審議を図り、最終的には、理事長の承認を得て次年度のカリキュラムを決定することとする。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
工藤　昌雄	盛岡ペットワールド専門学校　校長	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	本校職員
吉田　淳	盛岡ペットワールド専門学校　副校長	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	本校職員
三上　祐太	盛岡ペットワールド専門学校　教務部	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	本校職員
佐々木　一弥	一般社団法人　岩手県獣医師会　会長	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	①
佐藤　れえ子	岩手大学農学部付属動物病院　病院長	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	③
高坂　恵梨香	盛岡ペットワールド専門学校　教務部	平成30年4月1日～令和元年3月31日（2年）	本校職員

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

委員会開催については、年2回、8月と3月に行うこととする。

（開催日時）
年2回開催
第1回　平成30年8月23日　15:00～16:00
第2回　平成31年3月20日　15:00～16:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

動物業界で動物看護師として働くうえで、現状および今後必要となるスキルに関するアドバイスをいただき、「動物看護実習Ⅰ」、「動物看護実習Ⅱ」、「動物臨床検査学実習Ⅰ」、「動物臨床検査学実習Ⅱ」の授業において実践スキルを高められるよう授業の内容に反映させ、動物看護師として職務を全うするために今後必要となる内容まで含めて指導を行う。また、飼い主様とのやり取りの中で動物に関する技術のみならず、人間力・対応力の向上も必要となるため、接客能力・事務能力に関してアドバイスいただき、「ペットビジネス教養Ⅰ」、「ペットビジネス教養Ⅱ」の授業内容に反映させている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

より専門性の高い動物看護師を育成するため、学生本人の出身地域や就職希望地域も考慮に入れ、学校内での学びが現場でどのように活きてくるのかを経験させたいという本校の目的を理解して指導にあたっていただける事業所を選定。現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的（基本方針）とする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

動物分野における実践的な職業教育として動物関連企業や動物病院と契約を締結し、実践的な技術の習得やペットライフの質の向上による地域活性化を目的として連携している。企業および病院より直接的に学生に対して指導いただくとともにアンケートを実施し学修成果の評価について連携を行っている。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
外科動物看護実習Ⅰ	現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外（おもに東北地区）の動物関連事業所において、実習を行う。	そら動物病院、えさし動物病院、アイ・エル動物クリニック、カシワタニ動物病院、森下小鳥病院を含む24事業所
外科動物看護実習Ⅱ	現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがいを学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外（おもに東北地区）の動物関連事業所において、実習を行う。	そら動物病院、えさし動物病院、アイ・エル動物クリニック、カシワタニ動物病院、森下小鳥病院を含む24事業所
総合臨床実習	1年次終了実習での課題や反省を活かし、2年次実習では自ら気づき・考え動くことを目標とする。学校内での既習実習を踏まえて、現場で起こりうる危機管理等にも目を向け、より高い技術を学び実務経験を積むことで即戦力となる人材を育成する。	そら動物病院、えさし動物病院、アイ・エル動物クリニック、カシワタニ動物病院、森下小鳥病院を含む24事業所
ペットビジネス教養Ⅰ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	株式会社テレビ岩手 岩手県スポーツ振興事業団
ペットビジネス教養Ⅱ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	株式会社テレビ岩手 岩手県スポーツ振興事業団

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校・本学科の教員として必要な知識・技術・技能や授業及び学生への指導力について計画的に教育し向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡ペットワールド専門学校　研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。

ここでいう研修等には、事業所等から講師を招いて学内で行う研修や学外で事業所等が主催して行われる研修等への参加だけではなく、自己啓発活動への援助も含む。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

AFCアニマルファンスィアーズクラブによる「しつけトレーニング研修」(2018/10/15・16)

本学科教員が参加し、犬の扱い及び管理の仕方、動物業界を目指すための心構えを学び、犬を扱う技術力向上を目的とする。

②指導力の修得・向上のための研修等

全国ペット協会による「ペット業界セミナー」(2018/10/21)

本学科教員が参加し、ペット業界の採用の動向、求められる人材、雇用の確保などについて状況を把握し、学生の就職指導に反映させることで学生と採用側のミスマッチを防ぐことを目的とした。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

一般社団法人日本臨床獣医学フォーラムによる「日本臨床獣医学フォーラム年次大会2019」(2019/9/28・29)

本学科教員が参加し、大規模な会場で、多くの獣医師の先生方から最先端医療について学ぶことで学生に対する指導力の向上を図るとともに、指導者自身のスキルアップに繋げる。

②指導力の修得・向上のための研修等

MCL専門学校グループによる「MCL専門学校グループ職員研修」(2019/10/2)

全教員が参加し、次世代リーダー育成のためのブラッシュアップセミナーにより、現場におけるリーダーに必要となる資質・素養および地域振興活性の重要性を理解することを目的とする。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として事業所等から参画いただいた委員を含む学校関係者評価委員会を設置。各委員の実務に関する知見を活かした視点で、教育目標や教育環境等についての「自己点検・評価」結果に基づく評価を実施し、その評価結果を学校運営会における改善事項の提案に反映したうえで学校運営会や職員会において検討する。これを定期的に行うことにより、「地域で必要とされる人材の育成」のための教育の質の向上、学生支援、卒後支援、社会活動等の充実とともに、健全かつ安定した学校運営を図ることを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1. 建学の精神・教育理念、教育目的・目標
(2)学校運営	7. 管理運営(各校)、8. 管理運営(法人)
(3)教育活動	2. 教育の内容
(4)学修成果	4. 教育目標の達成度と教育効果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	3. 教育の実施体制
(7)学生の受入れ募集	5. 学生支援
(8)財務	8. 管理運営(法人)
(9)法令等の遵守	8. 管理運営(法人)、9. 改革・改善
(10)社会貢献・地域貢献	6. 社会的活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会の意見については、次年度の教育活動その他の学校運営の改善等に活用することで具体的な検討を始めている。

動物看護師科では、外部委員から、動物看護師セミナーの実施を提案いただき、学生のフォローアップを図るよう、学生から意見をヒアリングし、どんな内容でセミナーを実施するか検討し、次年度の計画に取り入れ、実施を予定している。また、避難訓練についても、より実際に近い「動物の同行避難」を実施する体制を確立するために必要な事項を整理し、マニュアル化を進めている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
佐々木　一弥	一般社団法人岩手県獣医師会　会長	平成30年4月1日～令和元年3月31日(2年)	企業等委員
佐藤　れえ子	岩手大学農学部動物病院　病院長	平成30年4月1日～令和元年3月31日(2年)	企業等委員

佐々木　千晶	小川動物病院	平成30年4月1日～令和元年3月31日(2年)	卒業生
髙橋　美侑紀	サンペット本宮店	平成30年4月1日～令和元年3月31日(2年)	卒業生
佐藤　文嗣	サくらんぽっこ	平成30年4月1日～令和元年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
〈ホームページ〉・広報誌等の刊行物・その他(　　)
毎年度末(3月)に公開　　URL: http://www.wanco.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質の保証・向上のためにも、関係事業所等から本校の教育活動への理解、協力を得られるよう、教育活動その他の学校運営の状況等について、ホームページや学校案内等で広く情報を提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	募集要項「盛岡ペットワールド専門学校の概要」
(2)各学科等の教育	学校ホームページ「学科紹介」、学校案内「学科紹介」
(3)教職員	学校案内「職員紹介」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校案内「実践授業紹介」「就職サポートシステム」
(5)様々な教育活動・教育環境	学校案内「校外活動」「学科紹介」
(6)学生の生活支援	募集要項「指定祭について」
(7)学生納付金・修学支援	募集要項「学費サポート」
(8)学校の財務	グループホームページ「MCL専門学校グループとは　財務情報
(9)学校評価	学校ホームページ「自己点検・学校関係者評価」
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
学校案内、学校ホームページ、及びグループホームページにて情報公開
URL: http://www.wanco.ac.jp/
:http://www.mclnet.jp/

授業科目等の概要

（文化・教養専門課程　動物看護師科）令和元年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、器官レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。	1通	150		○		△	○			○	
○			動物病理学	様々な疾病が組織や器官にもたらす変化を学び、病態について理解する。	2通	30		○		△	○			○	
○			動物疾病看護学	血液、消化器、筋肉などについて病気の概要、治療、看護について理解する。	2通	150		○		△	○		○		
○			動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	2通	30		○		△	○			○	
○			動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御にかかわる免疫学の基礎についても学ぶ。	1通	60		○		△	○			○	
○			病原体・衛生管理	個々の生物の生命と健康の維持に障害を及ぼす病原体の知識をもとに、引き起こされる感染症をどのように予防できるか学ぶ。	1通	30		○		△	○			○	
○			動物健康管理学	動物の健康管理に必要な知識や技術を理解する。	1通	15		○		△	○		○		
○			動物栄養学	６大栄養素やその代謝を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。	1通	75		○		△	○			○	
○			動物医療関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。	1通	30		○		△	○		○		
○			公衆衛生学	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	1通	30		○		△	○			○	
○			動物繁殖学	繁殖にかかわる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝子の基礎知識を修得する。	2通	15		○		△	○			○	

○			動物人間関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する。	1通	30		○		△	○		○		
○			動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	1通	60		○		△	○		○		
○			動物福祉論	伴侶動物、産業動物、実験動物、野生動物など状況に応じた動物福祉の概念を理解する。	2通	30		○		△	○		○		
○			飼養管理学	動物に関して本来の習性に則した飼育・管理方法を理解する。	1通	60		○		△	○		○		
○			動物看護学	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。	1通	15		○		△	○		○		
○			臨床動物看護学	個体観察や飼い主情報など様々な観点からの情報収集の必要性を理解し、個体に応じた適切な看護法を学ぶ。	2通	90		○		△	○		○		
○			動物入院管理	看護過程を理解し、伝染性疾患の患者、ＩＣＵ患者、疼痛を感じる患者動物の取り扱いを学ぶ。	1通	30		○		△	○		○		
○			幼齢動物・老齢動物管理	幼齢・老齢動物に関する飼育・管理方法を理解する。	2通	30		○		△	○		○		
○			動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。	1通	30		○		△	○			○	
○			救急救命対応	救命時や災害時における動物の命を守るための知識を修得する。	2通	15		○		△	○		○		
○			ｸﾗｲｱﾝﾄｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝ	動物診療現場における受付で発生する飼主対応、接遇を身につける。	2通	30		○		△	○		○		
○			院内コミュニケーション	日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。	1通	75		○		△	○		○		
○			動物飼育実習Ⅰ	動物種、個体、性別による特徴を理解し、適切なハンドリングを学ぶ。	1通	45		△		○	○		○		
○			動物飼育実習Ⅱ	動物の健康維持、精神衛生維持、正常、異常の鑑別及び手順や要領を考慮した動物の扱いを身に付ける。	1・2通	90		△		○	○		○		

○			動物看護実習Ⅰ	犬や猫のバイタルチェック、基本的な保定法、輸液に関する技術を身に付ける。	1通	90		△		○	○		○		
○			動物看護実習Ⅱ	処置や個体に合った保定法を身に付ける。正常と異常の判別及び評価し、報告の仕方を習得する。	2通	135		△		○	○		○		
○			動物臨床検査学実習Ⅰ	検体検査および生体検査に関する基礎的な知識を身につける。	1通	90		△		○	○		○		
○			動物臨床検査学実習Ⅱ	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する。	2通	135		△		○	○			○	
○			外科動物看護実習Ⅰ	手術準備や術中・術後管理など外科看護学に関する基礎的な知識を身につける。	1通	45		△		○		○		○	○
○			外科動物看護実習Ⅱ	手術における麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命などに関する実践力を修得する。	2通	45		△		○		○		○	○
○			総合臨床実習	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	1・2通	135		△		○		○		○	○
○			ペットビジネス教養Ⅰ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。運営を通して動物看護師として重要な飼い主さんへの配慮を磨き、臨機応変に動ける力を習得する。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	1通	165		△		○		○	○		○
○			ペットビジネス教養Ⅱ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。1年次からの集大成として、より高度な接客対応・配慮・危機管理能力を磨く。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	2通	315		△		○		○	○		○
合計				34科目	単位時間（ 2400時間）											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学科試験（筆記・レポート・実技）・実習評価	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。